

四号

慶應二年

丙寅江戸家信

二十歳熊藏

早稲田大学図書館

文書 27

A 11

4

七月書信

一 先生方々 君上多事歸に書寫多し思悦事歸に其節飛脚に書きたる
はた元終に自後書に成る書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
勤居る方決るに案しうりる事歸に

一 長谷川様母多事歸に書きたる書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
父上様は御書きたる書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
はた元終に自後書に成る書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
勤居る方決るに案しうりる事歸に

一 御田様は御書きたる書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
はた元終に自後書に成る書面を君上氣を迷憾事歸に先の書面を君上
勤居る方決るに案しうりる事歸に

九月廿三日 九月廿三日 九月廿三日

但し此の居るゝあはたしる又一片手障子のあはたしる
はあはたしるあはたしるあはたしるあはたしるあはたしる
あはたしるあはたしるあはたしるあはたしるあはたしる

一、この神神の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出

一、この神神の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出

九月廿三日

一、この神神の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出

一、この神神の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出
て、西の國に近づくや、大なる立派な都出

者子

知不足齋

父方保
書方保

十
弘
た
し

板
の
上

枚

朱肉

硬

[illegible][illegible]

牙痛の薬をのりたはれしをいふにたてはあはれぬ
可き病なり

○七葉のりをいふにやありき証なり

○今世のりなるはるるに新しきものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○世にあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○はるるにあらはれぬものなり

○
山
おろし
た
り
あ
ま
る
は
な
さ
し
あ
ま
る
は
な
さ
し
あ
ま
る
は
な
さ
し

今中

[illegible][illegible]

少年壯日認

[illegible]

五兩卷六

一、五、八、九、十

秘傳
唐木海の

一
一
一

コロウ候 庚午年 庚午年 庚午年

孝子其陰祀在打老白川松前造一連烟為志
 同國中七言五紙歌頌以中書付官附以世系之
 序而後也此是元禮記卷之三君上禮
 切實人相不計為遠之極而少所介分聖教年
 上助房母先年公好米海昌平長左吹市正和
 〇上以月人七年所通和上

[illegible][illegible]

